岐阜大学附属図書館報
ISSN 0915−8960
Zun dō
寸 胴
THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN
第20号 1996. 10

目　次

岐阜ア式蹴球事始め　篠田昭八郎 …… 1
館蔵資料紹介No.11
　宮沢賢治に関する林金雄コレクション
　喜多　功 …… 3
Current Contents CD-ROM　検索手順 …… 5
個性的な岐大図書館に　古川　一男 …… 7
楽しい散読室　周　長海 …… 7
図書館員から一言　山口　博基 …… 8
　青木利根男 …… 8
お知らせ …… 8

岐阜ア式蹴球事始め

篠田　昭八郎

昭和40年1月（1965）恩師に，新潟大より岐阜高専へ転任挨拶の折，「岐阜に，日本で一番古く蹴球（日本蹴球協会が昭和49年（財）日本サッカー協会に名称変更にともない現在のサッカーが定着）を始めた堀桑吉先生（明11．2．1（1878）生・昭48．2．11（1973）没．以下敬称略）が健在で，一度お会いして当時の話を聞いてみたら」とのことだった。

昭和30年代までの東海地区での岐阜県サッカーの実力は，高校が3強1弱，一般が2強2弱と云われ，いづれも弱に属し，どうして，岐阜は，との思いがした。

何はともあれ，一度，堀の自宅にお伺いし，当時の事情を聞くべく，テープレコーダー持参で（昭41．1．6）蹴球等対話をテープ6本に録音した。先生は，『日本新教育百年史』（1969）の岐阜県有名人，4名中の1名に記されている。

平成7年10月，加納高校の蹴球仲間，松野敏郎と偶然に会い，彼の義祖父，塩津環（明14．8．1生・昭42．2．5没）が東京高等師範学校でア式蹴球（当時は，アソシエーション式蹴球，ラグビー式蹴球の区別）の写真があるとのこと拝受した。塩津環の御子息が，塩津駿岐阜大学名誉教授である。

これ等を基に図書館等で岐阜県ア式蹴球の時代考察と堀との対談記録で岐阜県サッカーが，いかに開始されたかの調査を試みたが十分に満たす資料は見出せなかった。

その折，明らかに間違いと推察される文献も見られ，これ等より，岐阜のア式蹴球解明の一資料になればと思い，ここに記述する。

文献上，岐阜県で最も古い記事は，『岐高百年史』（1973）の明治20年10月22日（1887），岐阜中学（現岐阜高），岐阜師範（現岐阜大学教育学部）の生徒が中心となり，岐阜町（現岐阜市）小熊，上加納，富茂登，沓井の各小学校と合同で早田河原で，岐阜町で初めての大運動会が開催され，参加者は紅白に別れ，100，200米競走……このときフートボールが師範と中学の対抗で行われた。フートボールの文字はこの時，始めてであるが，“1チーム30名づつ”で現在のルールでなく，以後，毎年，運動会にフートボールは，現れているが，現在の正式のルールは大正時代に入ってからといわれている。

堀との対談の折，加納尋常高等小学校在校中の明治22・23年当時，カワイ先生とフートボールを昼休み時間，毎日行った。塀にサッカーボールが当たれば1点で，グランドの真中に持ち帰り競技を始めた。競技人数は日によって異なり，20〜70人位を二分し

て行った。明治24年（1891）は濃尾大震災で学校が焼失し不能との話も聞いた。

山田午郎著『蹴球のコーチと練習の秘訣』（1932）に“小学生時代，校庭の中央に同級生が二分され紅白の色分けの帽子をかぶってボールを挟んで対陣し校舎の土台石になっている高さ１尺５寸（約45糎）の御影石で20間（約36米）の長さにある相対したのに向かって互に入り乱れてボールを蹴りあてる。相手方を手で押しのけたりすることは，おかまいなしだがボールを手で扱ってはならないというルールはあった。先生の号令一下，両軍は今日行われているラグビーのルーズスクラムの様に頭をつき出し手を肩にかけ幾十本と重なり乱れて動く脚の中に動かぬボール，目に見えぬボールを目あてにワッショイ，ワッショイで押しまくり何処からともなく漏れて出たボールを爪先でチョイ，チョイと突き乍ら土台石まで運んで蹴りあてる。そして１点，また中央に対立して先生の号令で再び斯うした猛闘が校庭に続けられる。御輿を担いで騒ぎまわる様なことが繰り返されたものである。今から考えれば実に単純なものであったが非常に興味があるので体操の時には，これを先生に要求したものであったが硝子を破る事が度重なるので容易に行はれなかった。土台石はゴールであった。このような原始的な蹴球は明治43年頃まで行われていた。”

このように，フートボールは，明治時代の運動会の種目に見られるが，明治11年（1878）日本最初に開設された体操伝習所のア式蹴球の授業内容が受講者の考えも加味され，現在のルールと異なった形で普及したものと推察される。

『岐高百年史』に，明治22年（1889）に，岐阜中学で第１回大運動会が開催され競技種目に，フートボール，２人３脚などと記され，明治28年にも大運動会種目にフートボールの記事が見られるが，ルール等の内容は判らない。

明治29年（1896）岐阜中学運動会の最終種目に岐阜高等小学校生徒200名を紅白に分け，フートボールを行い満場人のうず，ボールの所在も判らず，１時間近い試合も両者無得点だと記している。

前述の山田午郎の記録とも一致する。

『岐阜県師範学校学友会誌』創刊号にも，明治32年（1899）大運動会が行われ，その中にフートボールが記されている。

同上，第４号（1901）には，“吾等の運動”と題して，“夕陽西山に着かんとする頃「ライト」「アウト」の声朗らかにきこゆるは「ロンテニス」の遊戯なり，「ホームイ」「ハウル」の声高々に笑声と和して聞かるは「ベースボール」遊戯なり……突然銃を発せし如き音して喧しきは「フートボール」遊戯なり，吾等は，この遊戯を以て無上の愉快となり”と記している。明治後期には，野球，テニス，サッカーは中学校（現高校）でクラブ活動が行われていた。

岐阜尋常小学校で主な出来事に明治32年５月22日（1899）フートボール１個購入と記されているのが，岐阜県内小学校での最も古い記事である。

『岐高百年』（1978）に塩津環は，明治30年頃，岐阜中学では，フットボールは放課後に，ボールを蹴って高くあげたり東西に分かれて互いに蹴り合う位のことだったと記している。当時は，競技スポーツではなく，現在流に考えれば，レクリエーション的フットボールと推察される。

堀との対談の折，先生は，日本人で始めて，ア式蹴球を明治37年２月６日（1904），横浜で，東京高等師範学校対在日居留人，横浜アマチュア倶楽部と対戦，その記事が，当時の日刊新聞，萬朝報等に記載され，全国の中学校長，師範学校長よりア式蹴球の紹介を嘉納治五郎校長に依頼され，全国に部員が分担し，夏休み等の休暇を利用し蹴球の紹介をしたと話され，堀自身も，群馬師範（現群馬大学教育学部），山県師範（現山形大学教育学部）などに，同級生の渡辺英太郎と全校生徒を対象に講演と実演を行ったと話された。

堀は卒業後，選手は引退，教員として勤務の傍ら岐阜師範，岡崎師範，名古屋師範（現愛知教育大），名倫中学（現愛知県立明和高），陸軍幼年学校で指導を行ったが，試合をするまでには至らなかったと述べられているが，当時の資料は，きわめて少ない。

『岐阜のサッカー』（1980）に“岐阜にサッカーが植えつけられたのは，全国的に見て日は浅いが，大正の始め頃と思われる。岐阜中学卒（大正６年）の小沢準作が東京高等師範学校の選手で母校に来て，4，5年生を主体に指導され，何とか試合の出来る程度となったが，試合相手が不在で，明倫中学，愛知第一師範（現愛知教育大）など対抗試合を行った。”と記しているが細部は判らない。

最後に，標記調査で，当時の資料は皆無であった。願わくば，読者各位が，書籍等発刊の折，同人誌，書籍等を問わず，書籍類を図書館に寄贈され，後輩の研究の一助に御協力をお願いするものである。

（しのだ　しょうはちろう：医療技術短期大学部教授）

館蔵資料紹介　No. 11

宮澤賢治に関する林金雄コレクション

喜多　功

第５代学長林金雄先生は，平成３年11月23日，80歳で亡くなられた。その３年前，先生は長年にわたって集められた宮澤賢治に関するコレクションを岐阜大学図書館に寄贈された。コレクションは以下のようなものから成る。

１．賢治関係の出版物

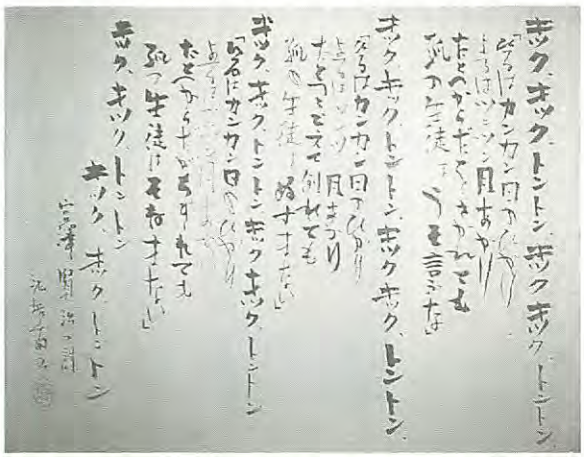
図書123点（156冊）。雑誌，小冊子，抜刷21点。

２．賢治の詩の一節を書の作品にしたもの。

「稲作挿話」（軸），「キックキック」（未表装），「ありときのこ」（折帖），「からすの北斗七星」（和綴帖）など13点（関谷秀太郎，泥垢斎）。

「どどうど」（軸），「まづもろともに」（軸），「病のゆゑに」（軸）など6点（関谷義道）。

「永訣の朝」（未表装）など２点（豊水）。



３．その他の資料

宮澤賢治手帳（復元版），自筆原稿コピー，賢治卒業論文写真版，絵画宮澤賢治像（清水魚星），賢治関係の写真のアルバム，賢治に関する新聞記事のスクラップブックなど多数。

４．１～３を展示する際に使用する手製の説明用のパネル

１は３階の特別閲覧室の中に林文庫として陳列され，２～４は１階の特別資料室に保管されている。

賢治関係の出版物は，先生が収集された時代には今日のように多くはなかった。コレクションには当時の代表的な出版物が揃っており，今ではほとんど入手しえないものも含まれている。しかし，賢治研究資料として今日いかほどの価値があるか筆者には判らない。コレクションの最もユニークな所は上記2の一連の書の作品である。先生自身も葉人と号して書を嗜まれたが，これらは先生と親交のあった書家たちの手になるもので，これらの作品を前にすると，無機的な活字で読む時とはまた趣が異なって，珠玉のような賢治の言葉が深く心に沁みて来るのを覚える。また上記３と４の諸資料からは，賢治に対する先生の並々ならぬ思い入れ，および賢治を多くの人に紹介したいという強い気持が窺われる。このコレクションは，寄贈時の本学図書館における展示も含めて，過去５回一般公開された。教え子の粕淵宏昭氏（農学部昭44卒）の協力によって実現した長浜文化芸術会館における展示（昭52）が私の記憶に残っている。

さて，林先生は昭和55年に日本農芸化学会中部支部会で，「宮澤賢治と農芸化学」と題して講演された。先生は沢山の詩を引用しながら，科学者の立場から賢治の魅力を紹介された。残された自筆の講演原稿を読むと，先生がどうして賢治を知るようになったか，賢治のどういう所に一番魅力を感じているのか，賢治の思想をどう見ておられるのか，などについて率直に語っておられる。以下，先生自身の言葉でそれらを語っていただくことにしたい。

「私は，かねがね伝記と詩を読むようにつとめておりました。実験室で研究ばかりやっていると淋しくなるし，色々のことから農芸化学を広く見たいと思うようになり，どんな先輩がいるだろうか？どんなことをした人がいるだろうか？ということに興味をもつようになり，色々と調べているうちに，勿論鈴木梅太郎先生のような偉大な農芸化学者を知り敬服しましたが，ユニークな一人として宮澤賢治を知るようになったのであります。そして農

芸化学が詩や童話といった広い世界につながっていることを教えられました。」

その後先生は兵隊に行って，陸軍歩兵となった。「一等兵の頃には台湾の一番南端の山地に派遣され歩哨に立ってフィリッピン方向から敵機の来襲してくるのを望楼に登って見張っておりました。海岸にはフィリッピンに敵前上陸する日本の兵隊が集結していました。そんな時，賢治の「どうか憎むことのできない敵を殺さないでいいように（「烏の北斗七星」）という言葉が風にのって聞こえてくるように思えましたし，私はこの言葉を静かに口ずさんでおりました。」「日本へ引き揚げてまいりましてから，再び農芸化学をやるようになって，農芸化学の面から賢治を見たいと思いつづけてきたわけであります。」「賢治の残したものには，人文科学と自然科学のすばらしい融合がみられます。人文科学の面では，児童文学（童話）とか詩といった文学の面から取り上げている人はかなり多く，かなり沢山の本が出版されていて，近年特に多いように思われます。しかし殆んど文学の領域であって，こういう領域で私のやりうることは何もないわけです。他方自然科学の面から取り上げている人は殆んどありませんでした。賢治は草野心平あての手紙の中で，「一個のサイエンチスト」といっています。詩や童話には随所に自然科学の用語がちりばめられていますが，誰もその真の内容へのアプローチを試みなかったようです。ところが，近年相次いで3つの書物が出版されました。」として，先生は自然科学の分野から賢治の魅力を解き明かした斉藤文一氏（超高層物理学），宮城一男氏（地質学），板谷英紀氏（化学）の著作を紹介し，賢治の特徴の一つは，特に詩において科学用語を駆使していること，みずみずしい美しさをもった科学用語を導入したことによって，日本語の表現の奥行きと幅を広げ深めたことを指摘している。そして農学の立場から，「自然の物質循環の体系のなかで人間活動をとらえていた賢治の考え方は示唆に富んだものといえると思います。」と結んでいる。

筆者が助手として本学に着任したのは，先生が農学部長を退かれた年であった。先生は若い者と議論をするのがお好きだったので，言葉をかわす機会は度々あった。また先生は一時期日本科学者会議の機関誌購読会員だったので，毎月雑誌をお届けするのが私の役目であった。われわれは賢治に対する関心ということでウマが合い，学長室でのひとときがお互いの息抜きの時間にもなった。「広い学長室にたった一人だけですわっているのは淋しいものだ。」「農芸化学から見た宮澤賢治というテーマを退職後の楽しみにしていたんだが，もう手をつける人が出てきたんだよ。」先生がもらしたそんなひとことふたことが印象に残っている。最後にお目にかかったのは亡くなられる3年前の夏だった。たまたまお宅に立ち寄った私に，聴かせたいものがあるといって，加古隆氏のCDをプレヤーにセットされた。「賢治の世界を音楽にしたものだそうだが，なかなかいいだろう？」と，私の顔をのぞき込むようにされたが，ウーンとうなったきりで肯定的な返事をしなかった私にちょっと不満そうだった。

今日，宮澤賢治に対する関心はかつてなく高まっており，さまざまの角度から光があてられている。平成2年に設立された宮澤賢治学会イーハトーブセンター（岩手県花巻市高松1－1－1，代表原　子朗）は，現在数千人の会員を擁し，機関誌の発行，セミナーの開催，前年に印刷公表された賢治関係資料の目録発行など活発な活動を行っている。今年は生誕100年にあたるが，賢治の魅力はますます輝きを増しているようである。わが大学にも早くから賢治に傾倒し，その人と思想の紹介に努めた先人がいたことを学生諸君に知ってほしいと思う。また，このコレクションを資料室に眠らせておくだけではいかにも惜しい。未表装の作品には表装を施し，来館者の目にふれる所に置きたいものである。

（きた　いさお：農学部教授）

（配置場所：3階特別閲覧室）

Current Contents CD－ROM 検索手順

CURRENT CONTENTS（CD-ROM）は，学術雑誌最新号目次情報誌（カレントコンテンツ誌）をCD－ROM化したものです。CD－ROM版の特徴としては，アブストラクト（抄録）からの検索が可能なこと，1年分（52週分）を一度に検索が可能なこと，データ内容が毎週更新されること，全著者の住所を収録していること等，内容面や検索機能の充実が図られています。

CD－ROM版は，以下の５種類を購入しています。このうち本館では，CLINを除く４種類，医学部分館では，LIFEとCLINの2種類をそれぞれ所蔵しています。

検索は，本館2階カウンター斜め前および医学部分館の１階検索コーナーに常設してある検索端末で行ってください。

・LIFE：Life Sciences
・AGRI：Agriculture, Biology & Environmental Sciences
・PHYS：Physical, Chemical & Earth Sciences
・TECH：Engineering, Computing & Technology
・CLIN：Clinical Medicine

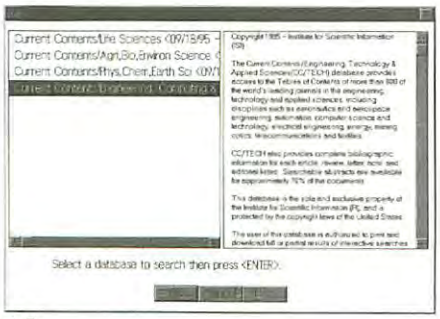
（収録誌名は，パソコン横にあります収録誌名表で確認してください）

検　　索

【DB選択】

データベースの選択画面で↓キーかマウスで目的のデータベースを選択しハイライトさせます。

選択は，OKボタンをマウスで左クリックする（以下クリック），ハイライト部分をダブルクリックする，あるいはEnterキーを押す，のいずれかの方法で行ってください。



【一般検索】

Enter subject, then press 〈Enter〉と表記された入力ボックスに検索語をタイプし，Enterキーを押すと，タイトル，抄録，著者キーワード，ISI社キーワードの4項目から検索します。

検索パネルにレコード件数が表示されます。

【著者検索】

Authorボタンをクリックすると，Author Searchボックスが現れます。

ファミリーネームをタイプし，OKボタンをクリックしてください。

該当著者一覧が表示されます。必要な著者をクリックします（何人でも）。選び終わったらEnterキーを押してください。検索パネルにレコード件数が表示されます。

【雑誌検索】

Journalボタンをクリックすると，Journal Name Searchボックスが現れます。

雑誌名を，省略形でなく，先頭語から適当な語までをタイプし，OKボタンをクリックしてください。

該当雑誌名一覧が表示されます。必要な雑誌をクリックします（何誌でも）。選び終わったらEnterキーを押してください。検索パネルにレコード件数が表示されます。

【タイトル，抄録検索】

Textwordボタンをクリックすると，Text Searchボックスが現れます。

検索語をタイプし，OKボタンをクリックしてください。検索パネルにレコード件数が表示されます。

【検索集合の組み合わせ】

組み合わせたい検索集合を，検索パネルの中からクリックしていき，選びます。

Combine Setsボタンをクリックすると，Combine Setsボックスが現れます。

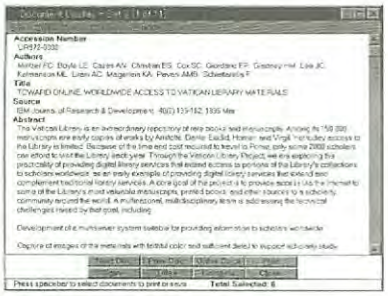
かけあわせたい場合はANDを，たしあわせたいならORをクリックした後，OKボタンをクリックしてください。

データ出力

画面表示（View）

検索パネルの検索結果のうち，画面表示したい集合をクリックして選びます。

View Setボタンをクリックすると，該当データの一件目が画面に表示されます。



次データを表示したければ，Next Docボタンを，一つ前のデータを表示したければ，Prev Docボタンを押します。

表示項目形式を簡易形式（タイトル，著者，収録誌情報）にしたい場合は，Titlesボタンを押します。元の表示形式に戻るには，Titlesボタンのあったところに現れるDocumentsボタンを押します。

表示データをプリントやダウンロードのために選択したい場合は，スペースキーを押します。画面最下行にDocument Selectedの表示が現れます。選び終わったら，Closeボタンを押し，検索パネルに戻ってください。検索結果であるかのようにパネルに表示されています。あとはプリントアウトやダウンロードの方法にしたがってください。

【プリントアウト】

検索パネルに表示されている検索結果のうち，プリントしたい集合をクリックします。

Print Setボタンを押します。

Print Documentsボックスが現れます。プリントする論文の範囲を変える場合は，From □ to □の数字を変更します。検索式内容と結果件数もあわせてプリントしたい場合には，Include Strategyチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

もしも項目（タイトルや著者など）対象を変更したければ，Optionsボタンをクリックし，表示される候補からDefault for Fields to Print ／ Saveをクリックしてから Modifyボタンをクリックします。現対象項目が黒くハイライトされています。必要，不要をクリックによって決定してください。OKボタンをクリックするとPrint Documentsボックスに戻ります。

条件がすべて整ったら，OKボタンをクリックしてください。

プリント終了後，自動的に検索パネルが表示されます。

【ダウンロード】

（フロッピーディスクをお持ちください）

検索パネルに表示されている検索結果のうち，ダウンロードしたい集合をクリックします。

Saveボタンを押します。Type Selectionボックスが現れます。Save Documentsをクリックして選び，OKボタンをクリックしてください。

Save Documentsボックスが現れます。Save Name欄に8文字以内でファイル名をタイプします。検索式・内容と結果件数もあわせてダウンロードしたい場合には，この状態で，それらが不要の場合にはInclude Strategyチェックボックスをクリックしてチェックマークをはずします。

もしも項目（タイトルや著者など）対象を変更したければ，Optionsボタンをクリックし，表示される候補からDefault for Fields to Print／Saveをクリックしてから Modifyボタンをクリックします。現対象項目が黒くハイライトされています。必要，不要をクリックによって決定してください。OKボタンをクリックするとSave Documentsボックスに戻ります。

条件がすべて整ったら，OKボタンをクリックしてください。

ダウンロード終了後，自動的に検索パネルが表示されます。

検索パネルにレコード件数が表示されます。

今回紹介しきれなかった機能が他にもあります。もっと詳しくお知りになりたい方は，2階カウンターでお尋ねください。また，それぞれの検索用端末（CA on CD等）横には，詳細な操作マニュアルも置いてありますのでご覧ください。

個性的な岐大図書館に

古川一男

レンガ風のどっしりとした風格のある構えの岐大図書館は，個人的に大変気に入っている。また，基本図書の蔵書冊数の増加はもちろん“開館時間の延長”等の利用者へのサービス・“学内LAN”の利用等による情報提供サービス・“留学生向け資料”をはじめとする図書館資料の整備等，岐大における情報提供センターとして質的にも年々充実してきている。入館者数や貸出図書数も毎年増加している。大学の質は，その大学図書館を見ればよくわかるというが，「岐大の学術文化は確実に高まっている」ことをこの岐大図書館を通して実感する。

しかし，個性のなさを思う。岐大の敷地にあるという以外は“岐大の匂い”をあまり感じない。例えば，岐大の全学部の諸先生方の最新の研究報告や著作等が一覧できる部屋を位置付けたらどうであろうか。スペース的な問題もあるが，場所は玄関ホール近くがいい。それも，今の散読室のような小さく区切られた部屋ではなく，オープンなスペースがほしい。岐大の諸先生方のご活躍は，岐大生の誇りでもある。もっとアピールしてほしい。私たち学生の勉学への大きな刺激にもなる。学外者へのアピールにもなる。このスペースが，先生方や学生が気楽に談話でき，また，休憩や待ち合わせにも活用できるゆったりとした空間にもなったら，とも思う。静粛を重んじる図書館に不似合いかもしれないが，喫茶的な施設も併設されたらなおうれしい。

教育学部にも大学院が設置された。それに見合う蔵書や学術誌のより一層の充実はもちろん，今後も増えるであろう留学生向け資料の充実やコイン式の私費用文献複写機の設置（本館に）も希望したい。現実を見据えない意見のような気もするが，卒業してからも大いに活用させていただきたい岐大附属図書館のさらなる発展を大いに期待している。

（ふるかわ　かずお：教育学研究科大学院生）

楽しい散読室

周　長海（中国）

図書館は大学生と大学院生にとって勿論なければならない施設なので，うまく利用して，色々な情報を把えて，自分の研究に役立ち，よいレポートが出来ることを信じています。ただし，我々留学生に対して，異国の留学生活は寂しいときが多いです。遠い祖国のことと国際情報にとても関心があります。この願いを満足させてくれるのは，図書館の散読室です。寂しければ，暇があれば，私は必ず散読室へ飛んでいきます。

静かな散読室のなかに日本語，中国語，英語，韓国語の各種の新聞と雑誌がきちんと並んでいます。私がだいすきなのは中国語の読み物です。《人民日報》を読むと，祖国のニュースと故郷のことがすぐ分かります。まるで故郷に帰っているようです。懐かしい母国文を読むことは何より楽しいじゃないですか！《中央日報》を読むと，今までまったく分からない台湾のことや台湾の中国人の考えも少し分かるようになりました。同じ内容の記事でも，立場が違うと，全然違う話になります。一番大事なのは自分自身が正確な判断によって，正しい認識を持たなければならない事だと思います。

小さい散読室は私の友達になりました。ときどき会いに行って，勉強になります。日本語の新聞を読んで，日本語も少しずつ上手になって，日本のことや日本人の考えもだんだん理解できるようになりました。しかし，国情は全然違うので，相互に理解できないことがまだいっぱいあります。ですから，今後もっと勉強しなければならないと思います。それ故に，また暇があれば，勉強になる楽しい散読室へ行きます。

（しゅう　ちょうかい：大学院農学研究科（修士課程））

図書館員から一言

山口博基

国文学研究資料館から、桜の咲いている時に図書館業務としては、初めてですが赴任しました。約半年たった今、秋桜が咲き季節は変わりました。業務の習得は相変わらずで遅々として進んでおりませんが、皆様のご要望にできるだけ答えられるよう、利用者の立場にたった管理運営に尽力していく所存です。本館には、国文研にも無い貴重本である寛文頃の奈良絵本の写本「小志きふ＝小式部の草子」がありますが、ＣＤ－ＲＯＭ化等を図り、学術審議会の建議「電子図書館的機能の充実・強化」に沿った、新しい図書館に向け、館長・図書館委員のご意見、ご指導の下進めていきたいと考えております。

（やまぐち　ひろもと：事務部長）

青木利根男

この4月に，国立国会図書館から赴任してきました。岐阜ははじめてですが，東京と違ってすぐ近くに見える山なみや，川のある環境は，関東の海なし県育ちの私にはどこか郷愁を誘うものがあります。

久しぶりの大学図書館ですが，大学も今やインターネットをはじめとする情報化時代真っ直中ということで，図書館にも本以外の新しいメディアがどんどん入り込んでいます。これらをどのように取り込んで学内への情報サービスとして展開していくか，また新しい時代の知的学習空間はどのようなものかなど新たな課題に向けて頑張りたいと思います。

（あおきとねお：情報サービス課長）

お　知　ら　せ

・時間外開館の延長について

11月１日㈮から下記のとおり変更になりましたのでお知らせします。

開館時間

火曜日（本館）22：00まで延長

土曜日（本館）10：00～16：00に延長

（分館）11：00～17：00に延長

・CA on CDの研究室からの検索について

附属図書館本館では，2階カウンター斜め前に各種CD－ROM検索端末を常設してスタンドアロン方式で利用していただいております。このたび，このうちのCA on CDについては，学内LANを利用し研究室からの検索が可能になりましたのでお知らせします。

なお，Current ContentsのCD－ROMについては，シングルユーザー契約ですので，学内LANからの利用はできません。ご利用の際は，従来通り図書館で検索を行って下さい。

ソフトのインストール方法等の詳細は，下記のURLに記載していますのでご覧ください。

http：//www. gifu－u. ac. jp/~khu1132/opac/ca. html

・医学部分館の特別利用について

医学部分館では，自動入退館管理システムの導入を図り，来年からは司町及び北野町キャンパスの教官・大学院生等の方に，早朝6時から深夜12時までの間，利用していただけるよう準備しています。

・平成８年度岐阜大学附属図書館委員会委員異動について

10月からの地域科学部の創設，教養部の廃止に伴い，附属図書館委員会委員の異動が次のとおりありました。

辞任　熊谷吉治（教養部）　　杉森弘幸（教養部）

新任　宮野雄一（地域科学部）近藤眞庸（地域科学部）

・図書館へのご意見・ご要望をお寄せください

図書館では，利用者の皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。直接カウンターにお寄せいただくほか，館内には投書箱も設置してありますのでご活用ください。

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第20号　1996年10月31日

編　集　委員長：梶山雅史　委員：佐藤貴裕，杉江茂幸，佐々木重雄，青木利根男，村上喜廣，上口正昭

発　行　岐阜大学附属図書館

〒501-11　岐阜市柳戸１番１　☎058-293-2184